第３回埼玉県少年少女空手道秋季大会

**審判・監督　会議　確認事項**

**この大会は、公益財団法人全日本空手道連盟審判規定・競技規定により実施する**

**■形競技について**

①トーナメント・フラッグ方式

②１回戦から準決勝戦まで（公財）全日本空手道連盟空手競技規定　基本形とし繰り返し可

　決勝戦は自由とする（それまでに使用した形も可）

③３位決定戦は行わない

④入退場については、下記の通りとする

・名前がモニターに表示されたら入場する

・双方の選手は演武開始目安（マットの色が変えてあります）に進み、正面に礼（斜め入場）

・形名を告げ、開始のホイッスルが鳴ったら開始する

・演武終了後場外にさがり、判定を待ち、判定後退場する（お互いに礼・正面に礼はなし）

・「礼」を忘れることでの違反はない（審判員はうながしてください）

**【注意事項】**

・審判妨害については、２人同時演武では適用しない

・２人同時演武時に接触や中断は減点の対象としない（主審判断での再試合も可能とする）

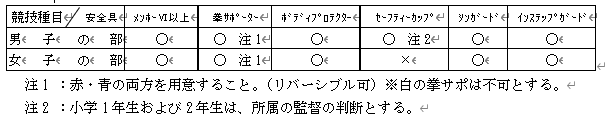
・足をならす、胸や腕または空手衣を叩く、むやみに息を吐きだす等は、大幅な減点行為となる

**■組手競技について**

①トーナメント方式

②６ポイント先取、競技時間は１分フルタイムとする

　決勝戦のみ６ポイント先取、競技時間は１分３０秒とする

****③安全具は、（公財）全日本空手道連盟検定品とする　※防具の共有は認めない

④足払い・テイクダウン禁止

⑤１０カウントルールは採用しない

⑥名前がモニターに表示されたら（主審は確認をする）主審の合図にあわせてコートに入る

**【注意事項】**

・同じ競技者が連続して競技する場合は、競技時間と同じインターバルを与える

　赤青帯を変える場合等、選手は速やかに行動する

・相手の反則（C１）により勝者となった選手は、大会ドクターの許可がない限り競技の続行不可となる

・テーピングの使用については、大会ドクターの許可が必要（メディカルシートはドクター席）

**【メディカルシートの取り扱い】**

・テーピングの使用は、試合前に大会ドクターの診断を受けること

　※大会ドクターは、メディカルシートに必要事項を記入します

　　　➡選手は競技開始前にコート主任もしくは主審に提出

➡各コートで主審確認➡選手に返却

・大会出場中は各自で保管していること

**【その他注意事項】**

・審判規定・全空連規定に沿って実施される大会です。出場するにあたり規定違反のないように注意してください

・帯は、マイ帯（赤青）・道場帯、赤青ひも使用可とする（ひもは各自準備する）

・ピン止め禁止、女子の髪留め（ゴムの色は派手でない色）、男子の空手道衣下シャツの着用不可

・監督服装は空手道衣（所属郡市連名の胸マーク）

・監督席には、プログラム・小さな肩掛けバック以外は持ち込めない

（肩掛けバックは、監督席に座る際は外して下に置いてください）

・プロテストを採用しない

・競技判定に関するビデオ等不服申し立てについて、一切受け付けない